

ふるさと見て歩き 第36回

新渡戸稲造の扁額をめぐって — 後編 —



▲塩田中学校があった場所（照田）

校にその手がかりがあるのか…。残念ながらこれ以上のことはわかりません。その後、統合なった新校舎に飾られた様子はなく、覚えている先生もおられません。竣工の際にはすでにどこかにしまいこまれていたのかもしれない。この扁額が再び確認できるのは昭和五十年代後半、山方中学校に英語教育の拡充のためLL教室が作られた後です。このときからLL教室の出入口にこの扁額が掲げられ、多くの先生方、生徒の皆さんが目に見えています。

◆ほかにもある新渡戸稲造の書

新渡戸は北大学長室の「Boys, be ambitious」のほかにも独文や英文の揮毫を残しています。十和田市立新渡戸記念館所蔵のゲーテの詩の一節「Eile nicht, Weile nicht」（急ぐことなかれ、とどまることなかれ）や、リンカーンの言葉「With malice toward none, With charity for all」（何者に対しても悪意を持たず、すべての人に愛を）（個人蔵）などです。また平泉の毛越寺には芭蕉の句「夏草やつわものどもが夢の跡」の英訳を新渡戸が書いた句碑が建てられています。外国語を毛筆で揮毫する、という一見風変わりな書を新渡戸は

複数残しているのです。いずれにしても新渡戸稲造という崇高な理念を持つ教育者による「青年よ、大志を抱け」という言葉は立志を迎え成長する学校という場にふさわしいものであると言えます。拓本はその性格上、複数枚制作され配布された可能性もあります。しかし現在までのところ同じものは見つかっていないので「国内未確認・未発見」ということができそうです。今後も調査を続けていきますので情報をお寄せください。

新渡戸の扁額は山方中学校でたくさん卒業生を送り出し、今も見守り続けています。旧塩田中学校および山方中学校現職・前職の先生方、卒業生の皆さん、柳川和工業所の皆さん、海老根弘さんに御協力をいただきました。

（参考文献）
渡瀬良道ほか編「渡瀬寅次郎・香芽子の歩んだ道」2005、「新渡戸記念館だより」(32・46号)

歴史民俗資料館
☎52-1450

山方中学校には新渡戸稲造の“Boys, be ambitious”の拓本の扁額が掛っています。どうして山方中にとと思いを始めました。直筆のものは北海道大学所蔵のものが有名ですが、碑の拓本という体裁のものは今のところ確認されておらず、非常に珍しいものといえそうです。

◆塩田中学校に所蔵されていたかも…

この扁額の来歴については現在も調査中です。ただ手がかりとなりそうな証言を得ることができたので参考として紹介します。

昭和四十一年（一九六六）年に現在の山方中学校の前身である山方・塩

田・諸富野中学校が統合されました。その後三年間は新校舎の建設のため三つの分教場のまま授業が行われていました。その期間に塩田分教場で宿直をしたという先生の記憶がただひとつの手がかりです。統合のため引越し作業が進む中、飾られることもなく宿直室の片隅に立てかけてあった扁額―記憶の中のこの額がすなわちその新渡戸の書かもしれないのです。何気なく見てみると、墨書きの英語が目飛び込んできました。英語の扁額が珍しかったことで印章深かったのか、そのとき「クリスチャンの書だから教育現場に掛けるのが難しいのか」と何とはなしに思ったそうです。はたして塩田中学



▶現存する塩田中学校の門柱